

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年							2025年										
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ～5日	10月 ～12日
カンピロバクター	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	38	43	27	4 (5)	7
病原性大腸菌	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	78	97	83	12 (15)	14
腸管出血性大腸菌	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	3	2	0	0	1
サルモネラ	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	8	28	10	5 (6)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	5	16	10	1	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	0
ノロウイルス	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和7年第41週(10月6日～10月12日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類 別	報告数	疾 患 名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一 類	0	発生なし	0							
二 類	7	結核	7	2		3		1		1
三 類	0	発生なし	0							
四 類	5	日本紅斑熱	2			2				
		レジオネラ症	3	2					1	
五 類	72	急性脳炎	1					1		
		梅毒	7		1	1		5		
		水痘(入院例)	1	1						
		百日咳	63	3	22	2		17	6	13

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町

西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町

北 部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年41週(10月6日～10月12日)

■コメント

1 RSウイルス感染症

定点当たり2.36人の報告があり、増加しています。生後6か月以下の乳児、特に生後1か月未満では、重症化しやすく注意が必要です。感染経路は、飛沫感染、接触感染です。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

2 インフルエンザ

定点当たり0.86人と、増加傾向です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第41週に1件の報告があり、今シーズンの累計は3件となりました。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

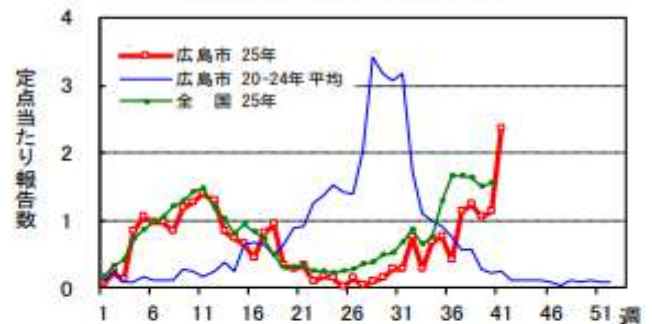
3 マイコプラズマ肺炎

定点当たり4.17人の報告があり、多い状況が続いています。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

4 流行性角結膜炎

定点当たり3.00人の報告があり、例年と比べて多い状況が続いています。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

RSウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間 平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間 平均(注)	発生記号	急増減	増減	微増減	横ばい	前週と比較しておおむね 1.2以上の増減	前週と比較しておおむね 1.15～2の増減	前週と比較しておおむね 1.1～1.5の増減	ほとんど増減なし
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2305	65.86			小児科	突発性発しん	11	0.50	0.25									
	インフルエンザ	30	0.86	1.69			ヘルパンギーナ	6	0.27	0.60									
	新型コロナウイルス(COVID-19)	100	2.86				流行性耳下腺炎	-	-	0.02									
小児科	RSウイルス感染症	52	2.36	0.26		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-									
	咽頭結膜熱	5	0.23	0.36			流行性角結膜炎	24	3.00	0.38									
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	2.14	1.14		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-									
	感染性胃腸炎	87	3.95	2.21			無菌性髄膜炎	-	-	0.03									
	水痘	10	0.45	0.14			マイコプラズマ肺炎	25	4.17	1.13									
	手足口病	14	0.64	1.33			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-									
	伝染性紅斑	37	1.68	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-									

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	98	50歳代・推定感染地域: 国外
5	急性脳炎	1	6	10歳未満
5	梅毒	5	124	20歳代・1人、30歳代・1人、40歳代・2人、50歳代・1人
5	百日咳	17	961	10歳未満・5人、10歳代・3人、20歳代・2人、30歳代・3人、50歳代・3人、70歳代・1人